

+++++

いのはな便り
肺がんCT検診認定機構メールマガジン
第16号(2015年7・8・9月号)

+++++

日本CT検診学会 2015年夏季セミナー について

日本CT検診学会主催の、第19回読影セミナー、第14回肺気腫セミナー、第9回技術セミナー合同の、2015年夏季セミナーが、7月25日、東京四谷の主婦会館プラザエフで、柿沼龍太郎代表世話人の下で行われました。

肺気腫セミナーは、日本赤十字長崎原爆諫早病院の福島喜代康先生の担当で、東京医科大学の瀬戸口靖弘先生が「喘息・COPD オーバーラップ症候群(AOCS)について」、長崎大学の石松祐二先生が「気腫合併肺線維症(CPFE)について」、福島先生が「肺気腫と間質性肺炎の胸部CTによる評価」と題してそれぞれ講演されました。

技術セミナーは大阪物療大学の山口功先生の担当で、第一部として、京都医療科学大学の石垣陸太先生が、低線量肺がんCT検診「線量管理用情報システム(CADI)の進捗」と題して講演し、ランチョンセミナーでは、聖マリアンナ医科大学の森本毅先生が「大腸病変のキソ～大腸CTを始める前に～」の講演を行い、第二部では低線量大腸CT検診「始めよう大腸CT検診 ～検査技術編～」のテーマのもと「大腸CT検査に必要な腸管拡張技術」として済生会熊本病院の松田勝彦先生が、「大腸CT検査に必要な撮影技術」として亀田メディカルセンターの藤原正則先生が講演しました。

読影セミナーは柿沼先生が担当され、第一部ではがん研有明病院の寺内隆司先生が、特別講演「PET/CT 検診」を行い、第二部では柿沼先生が「観察研究の概要」として、「がん予防・検診研究センターの観察研究の概要」、すりガラス様陰影の経過観察、「充実型肺結節」、「検診CT画像の読影実践」として講演を行いました。

いずれの講演も、日ごろそれぞれの分野の第一線で活躍している先生方の熱のこもった講演で聞きごたえがあり、さらに CT 検診の将来性を強く感じさせられるものばかりでした。

認定医師、認定技師の方でこの学会に未入会の方はぜひ入会されて、知識と技術にますます磨きをかけていただきたいと思います。(文責：金子昌弘)

【 本機構主催の講習会などのお知らせ 】

◆第 8 回 認定技師更新講習会

- ・日時：2015 年 10 月 24 日(土曜)
 - ・場所：国立がん研究センター中央病院 国際研究交流会館
- 詳細はHPでご確認ください。
※お申込みはすでに締め切っています。

関連会議のご案内

【第 18 回肺がん画像診断セミナー in DAIBA】

1. 日時：2015 年 9 月 20 日 10 時～ 2015 年 9 月 21 日 13 時
2. 場所：ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京、お台場)
3. 世話人：山田耕三 (神奈川県立がんセンター)
4. 内容:プログラムはこちらをご覧ください。

<http://odaiba-haiganseminar.kenkyuukai.jp/special/?id=10352>

本機構の副代表理事の江口研二先生が責任者を務める、肺がん画像診断の勉強会です。

少人数に分かれて、エキスパートと膝を突き合わせて議論ができる数少ない場所ですので、奮ってご参加ください。

現在HPから参加受付中です。

————— 【第 56 回日本肺癌学会学術集会】 —————

1. 日時 2015 年 11 月 26 日～28 日
2. 場所：パシフィコ横浜
3. 会長：弦間昭彦（日本医科大学 呼吸器内科）
4. 内容等については HP でご確認ください。
例年通り「集検セミナー」も予定されています。

編集後記：

すでにご存じの方も多いと思いますが、7 月 18 日 19 日に滋賀医科大学で予定しておりました、認定技師の認定および更新の講習会につきましては、台風 11 号による交通の混乱を危惧して中止いたしました。

多くの受講者の方々が前日の夜からの宿泊を予定されていましたが、極めて正しい選択であったと思われます。事務局はじめ関係の皆様の大変なご努力で、ほとんどの受講者には連絡が付き、大きな混乱も生じませんでした。

この場をお借りして、花井副代表理事をはじめとする、関係各位および事務局の皆様にはあつく御礼申し上げます。

さて今年の 8 月は、前半は全国的に猛暑でしたが、後半は一転して冷夏となり、石川啄木の「寒さの夏はオロオロ歩き」という言葉がまさに実感としてわかる気がします、皆様がたの方ではいかがでしょうか。

CT による検診は今後ますます広がるとは思いますが、それに伴って精度が落ちるようなことがあってはなりません。現在の精度をさらに高めつつ広めるためには認定制度は不可欠ですので、すでに認定されている皆様も、今回新たに認定された皆様も、日々の研鑽により CT 検診に関する知識と技術の向上に努めていただきたいと思います。（文責：金子昌弘）

◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆...◆

いのはな便り 第 16 号 2015 年 9 月 1 日発行

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 3-6-6 イノハナビル 3 階
有限会社エッセン内 「肺がん CT 検診認定機構事務局」

編集責任者 金子昌弘

TEL : 043-226-1298 FAX : 043-226-1299

E-mail : jimdai@ct-kensin-nintei.jp

WEBSITE : <http://www.ct-kensin-nintei.jp/>

